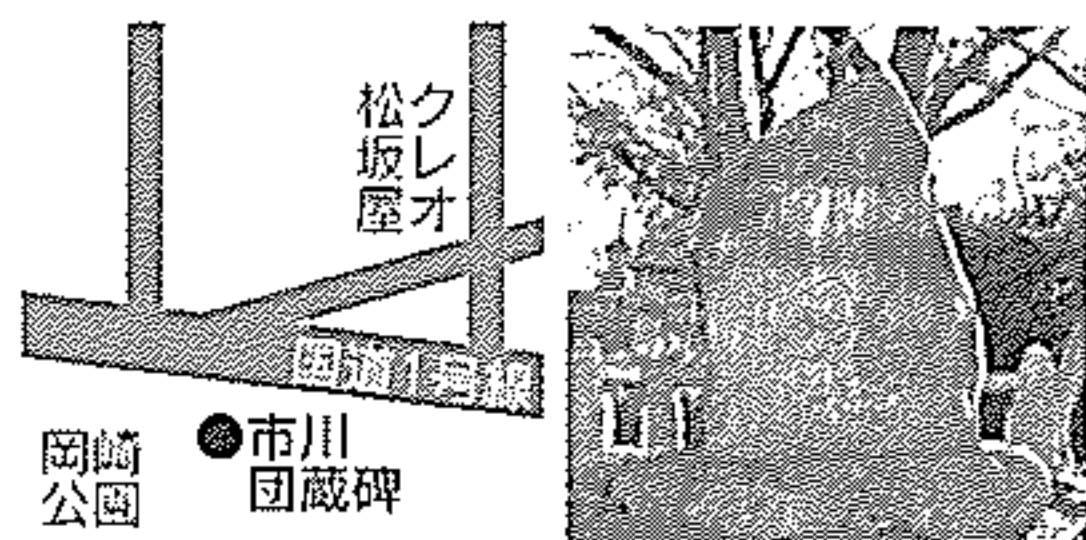


康生いったい

歌舞伎役者市川団蔵碑

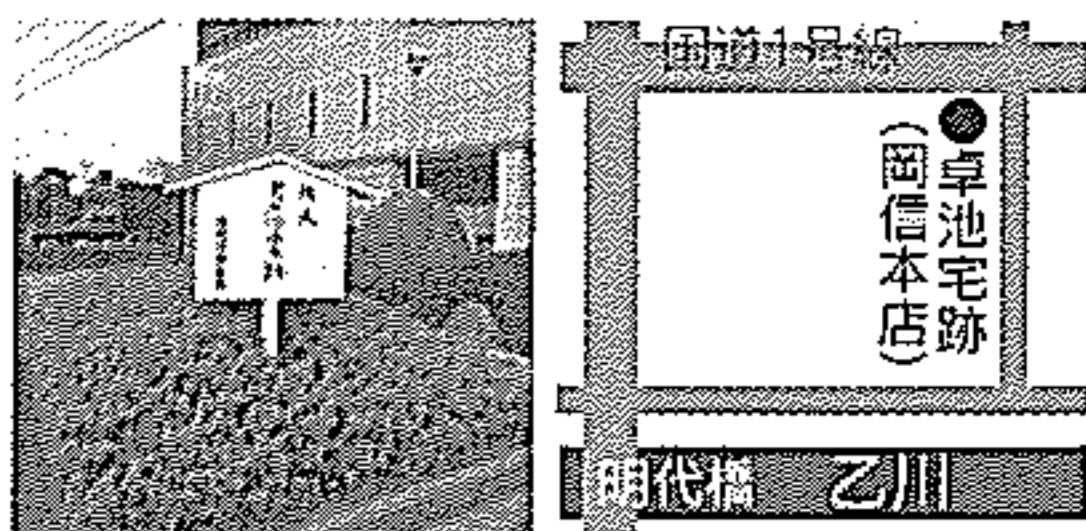


初代市川団蔵は、元禄時代(1688～1703)に花開いた江戸歌舞伎において、市川団十郎とならび大看板をかかげた「三河国額田郡」出身の人気役者でした。生誕280年を記念したこの碑は、昭和18年(1943)に、八世団蔵により建立されました。団蔵家に代々伝わる屋号はもちろん「三河屋」。現在は八世団蔵の孫が九世団蔵を襲名しています。日本舞踊「柏木流」の宗家でもある。

■岡崎公園交番東

東岡崎駅周辺

俳人鶴田卓池宅跡



岡崎信用金庫本店北東角に、江戸時代後期の俳句界をリードした鶴田卓池の屋敷跡を示す立て札がたっています。卓池は紺屋の主人でありながら、天保時代(1830～43)を代表する俳句の宗匠として、日本中にその名を知られていたのです。旅好きと穏和な性格から全国に友人をもち、東海道筋ということもあり、卓池を訪ねる旅の俳人は日に10人を数えたといわれています。

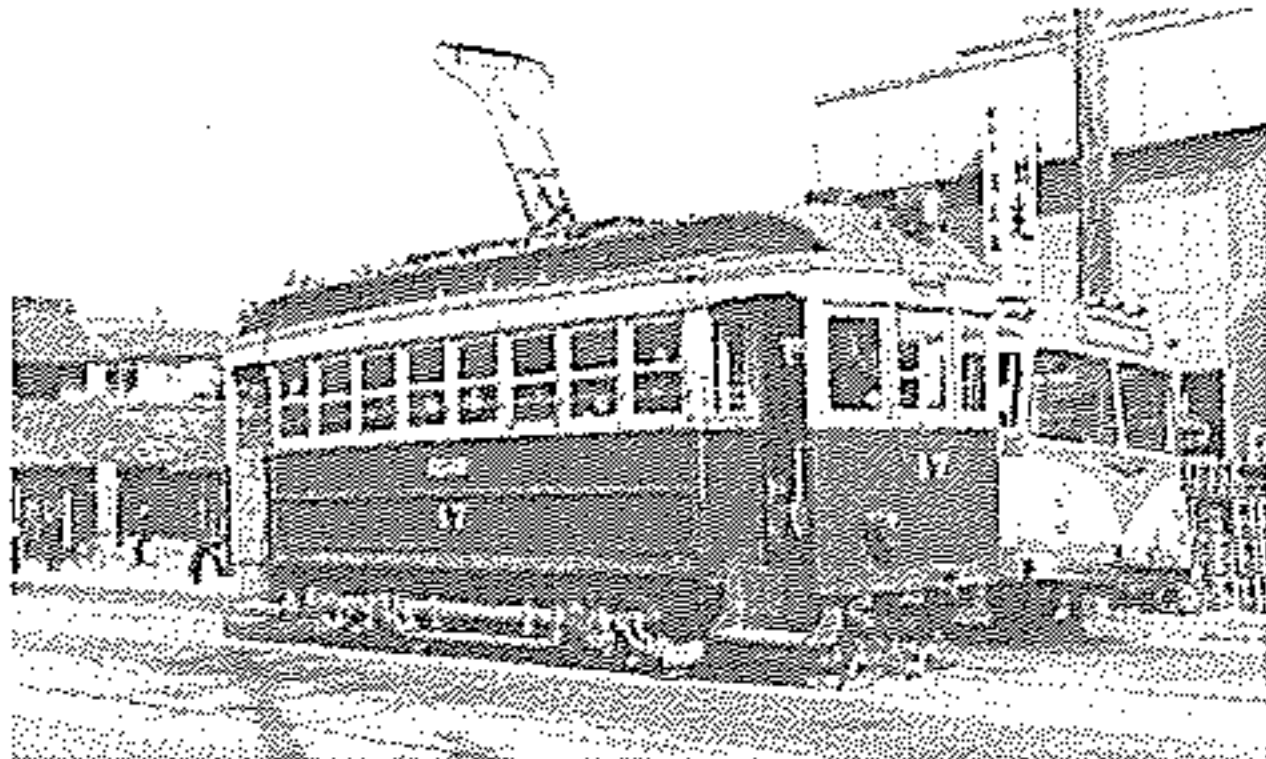
■岡崎市菅生町41

電車どおり瓦版 スタンプラリー

11月5日(日)10時～16時

東岡崎から本町通までの4商店街にあるチェックポイント4カ所でスタンプを押して、ゴールの本町通3丁目で抽選。ステキな賞品が当たります。先着500名様限り。空くじなし。各チェックポイントでは、チロルチョコなどお菓子をプレゼント。買い物の必要はありません。交通安全のためご家族でご参加ください。

岡崎市電の第1号車



車体番号47は、大正元年(1912)9月に電化し、4両で運行開始した岡崎電気軌道の第1号車です。昭和35年(1960)に廃車となるまで、約半世紀にわたり市民の足となりました。※写真は「路面電車と街並み 岐阜・岡崎・豊橋」より

■発行

電車どおり4商店街

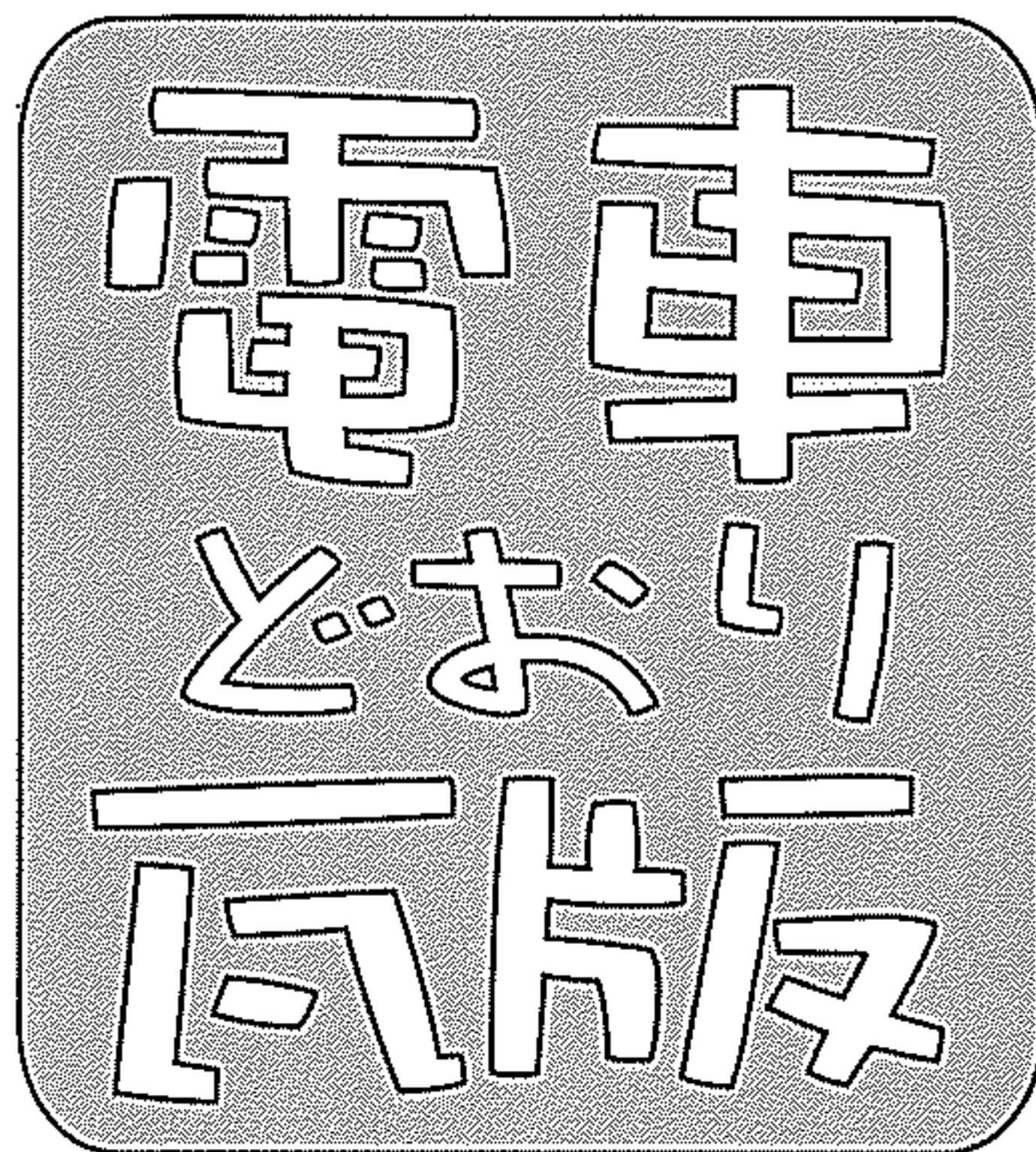
- 本町通三丁目商店街振興組合
- 岡崎銀座商店街振興組合
- 殿橋通発展会
- 岡崎明大寺商店街振興組合

■協力

岡崎商工会議所
岡崎市観光協会

■編集協力

三河・岡崎のタウン誌「リバーシブル」
岡崎江戸仲間



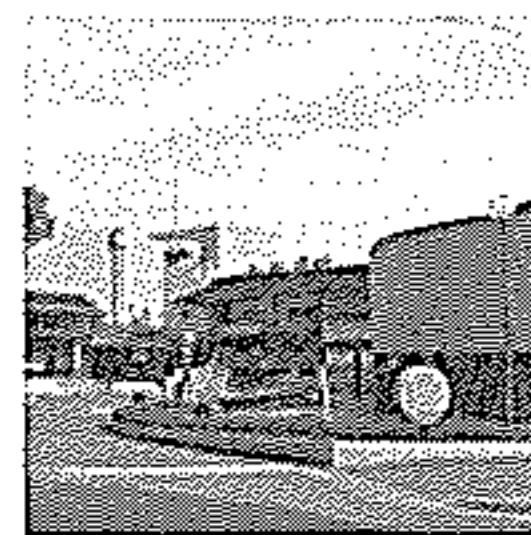
2006年(平成18年)9月・10月(第7号)

電車どおりの住民が
ご近所のネットワークを活かし
ます歩きを楽しむ
オススメのポイントをご紹介します。



本町がいわい

岡崎高等女学校跡



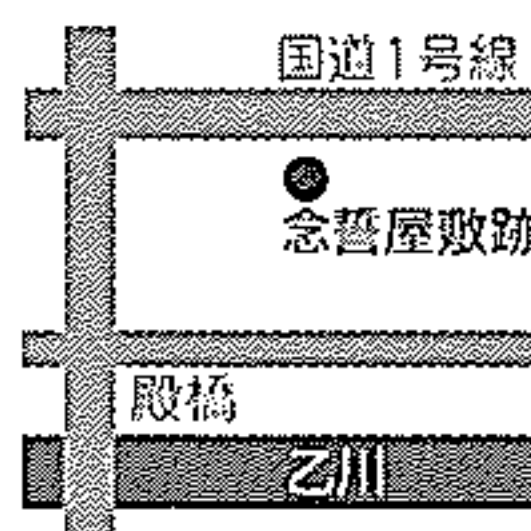
岡崎高女跡
(岡崎市民会館)

岡崎北高等学校の前身は岡崎高等女学校。明治42年(1909)から昭和23年(1948)まで、現在は甲山会館・市民会館となっている場所にありました。面白いエピソードとして、昭和14年(1939)1月28日に、当時、安城高等女学校教諭だった、童話作家の新美南吉が、岡崎師範学校と同校で開催された国語研究会に参加し、町歩きを楽しみ、岡崎に住みたいと日記に記しています。

■岡崎市六供町出崎15

殿橋のたもと

松平念誓屋敷跡



家康公の武将だった頃の名は松平親宅(ちかいえ)。家康公長男信康の行動をいさめたが聞き入れられず、天正2年(1574)に出家し念誓(ねんせい)と名乗りここに住みました。浜松の家康公に銘「初花」の茶壺を献上したことが縁で茶作りを拝命。宇治から派遣された名人・上林竹庵と共に、上地の茶畑で製茶に励み、生産された岡崎の銘茶は、家康公好みだったと伝えられています。

■岡崎市康生通2丁目54あたり